

16 住吉神社



1288年(鎌倉時代)建立されたといふ。社神は表筒男命、中筒男命、底筒男命である。この三柱は神功皇后の出兵時の海上の守護神で、海上安全の守り神として崇拝された。

17 安芸国養蚕の碑



延宝年間(1673~1680・江戸時代)に草津の小林五郎左衛門が「ひび立て」のカキの養殖法を考え、西道朴は養殖を助けた。明治30年神戸での水産博覧会で、その功績が認められ表彰された。佐伯郡民は、この碑を建てて永くその功績をたたえた。

18 一本松と石碑



1821年(江戸時代)旧草津港を抱くようにして埋立て、記念に一本の松を植えた。ここを通称「御場所」といい舟役人の番所であった。船はこの松を目印に港へ出入りしていたといふ。

19 福満稲荷と地蔵



江戸時代、井久田家に福満稲荷が祀られていた。いろいろ移転し、終戦後現在の位置に移した。お地藏さんはルーツが定かでないが創建は1911年(明治時代)で、宮島にいたお相撲さんの守り本尊であったと伝承がある。

20 旧草津港の雁木



旧草津港は昭和41年からの西部開発事業の一環として埋め立てられた。今では港であった面影はなくなったが雁木の一部を移設し、その名残を見ることが出来る。

21 胡子神社



1505年(室町時代)建立。祭神は恵比須神、事代主神で、福利をたらす神として、商家、農漁民に信仰された「えべっさん」として信仰を集めた神社である。境内にある鳥居はもとの魚市場恵美須神社にあったものである。

22 龍宮神社



1652年(江戸時代)建立された。社神は海津見神、三筒男命。この社殿は古くは八幡神社の山裾にあったが、新開が造成されるに当たって、海岸に移転された。境内には竜眼に彫った手水鉢がある。

23 永岡家



江戸時代の終わりごろ、1844年に建てられたと伝えられているが、部分的には改築されている。建築様式は居蔵建て。江戸時代や明治の始め頃は漁民と親方の住居は2つの種類にわかれていた。永岡家の住居は、その親方住居の代表的なものである。



草津まち 歴史の探訪マップ

- 西国街道(草津まち歴史の散歩道)
- 町屋路地コース(約1時間)
 - 神社仏閣コース(約2時間)
 - 城址コース(まちづくり交流広場~草津八幡宮まで)

